

クリティカルシンキングと合理性

横山輝雄（南山大学）

「クリティカルシンキング」は、大学教育の科目としてすでに実施されており、従来の教養教育に代る「学士力」「社会人基礎力」の養成などとの関連で拡大しつつある。「クリティカルシンキング」「ロジカルシンキング」などの名称だけでなく、「論理学」の科目名のまま、その内容を命題理論・述語論理などから、「クリシン」に変更して実施しているところもある。これまで論理学教育のワークショップを何度か行ってきた本学会としても、「クリシン」を検討する意義があろう。

ただし、本ワークショップでは、教育技術や教育技法の問題に特化するのではなく、そもそも合理的思考とは何かという科学哲学的問題をも検討する。というのは、論理学教育の場合は、教育から離れた論理学の体系が一応確立されているのに対して、「クリシン」の場合はそうではなく、教育すべき内容がそもそも現在形成途上だからである。「クリシン」の導入は、大学教育の改革という「外圧」による面が多分にあり、それは、技術者国際資格との関連から工学部で倫理教育が行われるようになり「工学倫理」や「技術者倫理」などの科目が新規に開設されるようになった状況と似ている。

大学教育における人文学の危機がいわれ、哲学教育の意義をどこにもとめるかが問題になっている（ここでは哲学専門の学科や大学院ではなく、教養教育のような哲学を専門としない学生を対象とした哲学教育のことを考える）。哲学が、社会で「即戦力」として「役にたつ」知識を提供できるとは考えにくい。教養教育・共通教育などでの哲学の意義を説こうとすれば、大学における哲学教育の意義を論じた近年の著書『古典を失った大学』で指摘されているように、大きく「文化伝統・古典」と「批判的思考」の二となる。後者の批判的思考が今回の問題である。

日本における論理学教育の歴史を概観すると、まず戦前の旧制高校から戦後の教養科目として、「論理学」が開講されてきた。それは人文系のなかで歴史や文学と並ぶ「哲学系科目」の一つであり、「三理一哲」（論理、倫理、心理、哲学）などといわれてきた（心理学が同類科目となっていたのは興味深い）。論理学の内容は、1970年代くらいまで、三段論法を中心とした伝統論理学とミルの帰納論理などがその内容であった。論理学が20世紀に変貌をとげ記号論理学になったことが教育に反映されるのは1970年代から1980年代にかけてであり、その過程でそれまでの伝統論理学などに代って、現代論理学の演繹論理にその内容が変わった。論理実証主義の時代に展開されたミルとは違う帰納論理などは、十分確立されていなかったこともあってとり入れられず演繹論理のみになった。

そのような形で現代化した論理学教育は、哲学科の専門科目としてではない、一般の教養科目としては難しすぎるという問題もあり、その内容が再検討され、一部の大学ではク

リシンに内容を入れ替えてしまったところもある。かつての論理学教育は、三段論法でも日常言語が用いられており、また虚偽論や発見法としての帰納論理などが含まれていたため、一般的汎用性のある「論理的思考力」の教育として是認されてきた。現代化した論理学の体系を教育するのではない、「ロジカルシンキング」や「クリティカルシンキング」が期待されている現在、かつての「論理学」教育を見直すことも必要であろう。

すでに刊行されたクリシンのテキストをみると、その内容は多様であるが、伝統論理学であれ現代論理論理学であれ、その初歩的部分は取り入れられている。それに加えて、定番的に登場するのは、トゥールミンの『議論の技法』である。これはもう50年以上前の本であるが、他にあまりないのか多くのクリシン本で言及されている。非形式論理などの近年の成果を反映させることも必要であろう。また「発見の論理」としてのミルの帰納論理、あるいは近代初期のデカルトの方法論などの科学方法論の要素も必要かもしれない。

そうすると。そもそも「論理的思考」「批判思考」「合理的思考」とはそもそも何であるかを検討することが必要になる。20世紀には、論理と心理の区別が強調されるようになったが、20世紀末の認知科学の発展などをもふまえ、心理学も含めてそうしたことを考える必要がある。またミルの『論理学体系』や、中世の論理学教育、あるいは古代以来の論証・弁論教育などが、どのような形で教育的意義をもっていたのか、などを検討することも意義がある。

<参考文献>

藤本夕衣『古典を失った大学―近代性の危機と教養の行方』NTT出版、2012

楠見孝他『批判的思考力育む―学士力と社会人基礎力の基盤形成』有斐閣、2011

伊勢田哲治他『科学技術をよく考える―クリティカルシンキング練習帳』

名古屋大学出版会、2013

トゥールミン・戸田山和久他訳『議論の技法：トゥールミンモデルの原点』

東京図書、2011